

大里中学校 美術科シラバス 2 学年



教科書名「美術2（日本文教出版）」
補助教材「美術資料」

1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考える。主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 授業の進め方

- ・題材ごとに理論や技法を学習してから制作し、題材終了時に作品を提出する。制作にあたっては、ワークシート やアイデア スケッチを通して構想を練り、見通しを持って取り組む
- ・鑑賞の授業では、まず対話型鑑賞を行ってから、作品の技法や歴史背景について学習する。
- ・全体への説明の他に個人添削や机間巡視を行い、生徒それぞれの意図や工夫に応じた指導を行う。
- ・グループでの鑑賞や話し合い等、主体的・対話的を適宜取り入れる。
- ・題材の最後には完成した作品を相互に鑑賞し、意見交換を行う。

3 学習上の留意点

- ・授業には、美術バッグセット（絵具セット、教科書、資料、ファイル）とタブレットを持ってくること。
- ・個々の材料や道具には記名をして管理すること。
- ・自分も他者も集中して授業に取り組めるように気を配り、準備や後片付けを徹底すること。
- ・提出物の期限を遵守すること

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・アイデアスケッチやプリントを管理するためのファイルを1年時に配布する。3年間持ち上がりで使用する。
- ・画用紙、粘土、版画セットなど、基本的な材料等は授業時に配付する。
- ・題材によっては、上記に加えて各人で素材を持参する。
- ・生徒の意図に応じて、美術室内本棚の図鑑や図書を参考文献として自由に参照できる
- ・技法の伝達や、表現技法の模索（アイデア）として美術資料、オンライン教材を使用する

5 単元テスト

- ・実施しない
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○材料や道具の特性を理解し、使用することができる。 ○見通しをもって、丁寧な作業工程である。 ○作品の完成度を高め、仕上げるることができる。	○個性豊かな感性である。 ○アイデアなどの発想力が豊かである。 ○表現したい内容に合わせて、材料や道具の工夫がある。 ○作品の内容を深く思考し、表現することができる。	○制作時間の見通しをもって、計画的に取り組む仕上げるができる ○最後まで粘り強く取り組むことができる ○毎時間のめあてとふりかえりを通して自身の学習進捗を把握して授業に臨める
方法	○学期課題の提出作品。 ○授業中の制作のようす。 ○ワークシート など	○学期課題の提出作品。 ○授業中の制作の様子。 ○制作途中のアイデアスケッチ。 ○ワークシートの表現	○授業中の様子。 ○課題制作の様子 ○振り返りシート など

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	・オリエンテーション	授業姿勢・作品 やワークシート 等提出課題の成 績を総合的に勘 案する	・見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、創造的に表現できる。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて見方や感じ方を深めている。
	5	・自由な視点で風景を見つめる *普段と違う視点で風景写真を撮影する *互いの作品を鑑賞し合う		
	6			
	7	・日本文化との出会い *ジャポニスムの表現の特色や時代背景をもとに鑑賞を行う ・つくる・使う・材料を味わう工芸 *木工の技法を使ってコースターを制作する 1学期のふりかえり 夏休み課題説明・題材設定など		
2 学期	8	・つくる・使う・材料を味わう工芸（1学期継続） *木工の技法を使ってコースターを制作する ・その1枚が心を動かす *好きな本のオリジナルブックカバーを作成する ・しぐさで語る動物たち *動きのある動物を粘土で制作する	授業姿勢・作品 やワークシート 等提出課題の成 績を総合的に勘 案する	・形や色彩の効果や構成などを基に伝えたいイメージに合わせて制作できる ・道具の特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。 ・作者の意図と創造的な工夫などについて見方や感じ方を深めている。 ・表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージを、材料や用具などの特性を生かし見通しを持って創造的に表している。 ・動物の特徴やイメージを基に形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し表現する構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて見方や感じ方を深めている。
	9			
	10			
	11			
	12			
3 学期	1	・思いが飛び出すカード *ポップアップカードの制作 ・現代美術にザワザワザワッ！ *鑑賞	授業姿勢・作品 やワークシート 等提出課題の成 績を総合的に勘 案する	・ポップアップの仕組み理解し、見通しを持って創造的に表している。 ・伝えたい内容から主題を生み出し、形や色彩の効果と美しさを総合的に考え構想を練る。 ・伝えたい内容やイメージとの調和のとれた美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深めている。 ・現代美術の美しさ、面白さを感じ取り美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
	2			
	3			